こめつつじ

平治岳から三保山、坊がつるを望む

２０２３年　7　月号

ＮＯ　５０５

善通寺山の会
YAMANOKAI

定例山行案内

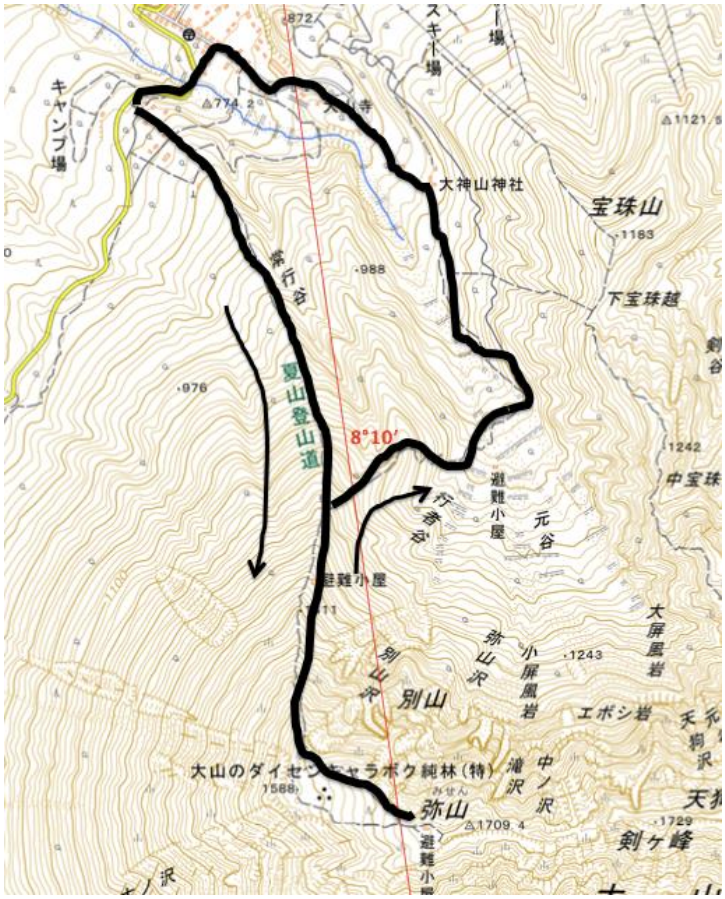
大山 1729m

■日　程　　2023 年　７月　３０日（日）
■目　的　　山陰の名山に登る
■場　所　　鳥取県　大山町
■
■準備会　　７月 13 日（木）19：30～　事務所にて
■体力度　　３★★★☆☆（初級～中級）
■難易度　　A★☆☆☆☆（初心者）

大山（だいせん）は、標高 1709mの西日本を代表する名山です。階段を延々と登ると、国の天然記念物大山キャラボクの群生が見られます。天気が良いと境港の弓ヶ浜が見え、日本海を望むことができます。

コースは夏山登山道を登り、弥山頂上小屋で昼食。下りは行者コースで大神山神社経由で下山します。

登り４時間、下り３時間。



定例山行案内

沢登り初級「大剣谷」

■実施日：２０２３年８月６日（日）
■場　所：徳島県三好市
■
■目　的：登山バリエーション沢登りの技術習得
■準備会：７月２４日（月）１９：３０～山の会事務所にて
■体力度：３（８時間まで　初級～中級）
■技術度：Ｄ（岩登りの基礎技術が必要、ルートファインディングの技術が必要）

概要等：
　私が参考にした「日本登山大系　関西・中国・四国・九州の山」には「平易な谷だが、直接剣山に出るので魅力がある。見ノ越より車道を祖谷川側に下ると大塚製薬つるぎ山荘前へ出る。車道から大剣谷出合いへは下手に降りると苦労する…。出合いへは見ノ越からおよそ 30 分ほど…。出合いより 1 時間で谷は二分する。（左は）西島神社から大剣神社へ登る一般道を過ぎて剣山頂上に至る。（右は）滝が連続し、おもしろい。」と記述されています。
　準備会で、どのルートにするかなど、各自集めた情報により決めていきたいと思います。

定例山行案内　　夏山合宿

北アルプス縦走五色ヶ原～薬師岳 2926m

■　日　程　令和５年８月 10 日（木）夜発　～山中３泊～　14（月）夜香川帰着
■　場　所　富山県　室堂～五色ヶ原～薬師岳～折立
■　目　的　テント泊縦走
■
■　体力度　3★★★☆☆（初級～中級）
■　難易度　C★★★☆☆（初級）
■　準備会　７月 19 日（水）　19:30～　山の会事務所
　　<u>バス・タクシーの予約をするので参加希望者は順次連絡下さい！</u>

　夏は北アルプスだ。テントを背負って縦走だ。今回は富山県側からアプローチして、室堂から南へ向かって縦走します。見所は五色ヶ原と百名山の薬師岳。ゆったりとアルプスの自然をテントに泊まって満喫できるコースです。
　切り立った場所ではありませんが、岩場、ハシゴ、ガレ場があります。また、テントなど宿泊装備一式を背負って４日歩ける体力が必要です。

◇コース詳細

８月 10 日（木）　夜集合～（高速）～アルペンルート立山駅　駐車場泊
　11 日（金）　立山駅～（立山ケーブルカー）～美女平～（立山高原バス）～
　　室堂 ＝ 龍王岳 ＝ 五色ヶ原キャンプ指定地
　　＜行動時間　約６時間＞
　12 日（土）　五色ヶ原キャンプ指定地 ＝ 越中沢岳 ＝ スゴ乗越小屋テント場
　　＜行動時間　約６時間 30 分＞
　13 日（日）　スゴ乗越小屋テント場 ＝ 薬師岳 ＝ 太郎平キャンプ場
　　＜行動時間　約６時間＞
　14 日（月）　太郎平キャンプ場 ＝ 折立 ～（タクシー）～　立山駅駐車場
　　～（高速）～　香川　夜着　　＜行動時間　約４時間＞
　　※予備日 15 日（火）

地図：PEAKS 2021 年８月号より

定例山行案内

岩登りトレーニング５

毎月恒例の岩登りトレーニングのご案内です。

登山中に岩場が出てきてドキッとし、不安に思った経験はありませんか？　そんな時、岩場歩きの基礎を知っておくと、恐れずに安心して通過することができますよ。

また、登山道歩きでは味わえない、少しスリリングな体験もできますから、とても楽しいものです。一度は体験しましょう。

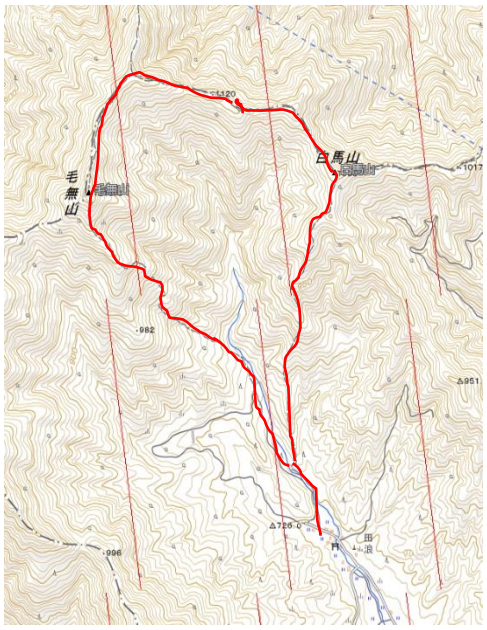
❖日　程　　２０２３年８月 19 日（土曜日）
❖集　合　　坂出林田の「ハローズ」駐車場　８時集合
　　⇒16 時まで実施予定
❖場　所　　坂出大屋冨ゲレンデ
❖目　的　　岩場を安全に登るための基礎技術を学ぶ
❖
❖対象者　　初心者歓迎。誰でも参加できます
❖持ち物　　登山靴、ヘルメット、安全ベルト、スリング、カラビナ、昼食、
　　飲み物

注：準備会はありませんので、参加希望の方は８月 15 日までに、佐藤までメールで申し込みください。

集合場所の解らない方、装備の無い方は気軽にご相談ください。

定例山行案内　西日本の山①

毛無山（けなしがせん）1219m



■日　程　　2023 年８月 20 日（日）
■場　所　　岡山県新庄村　鳥取県江府町
■目　的　　ブナ原生林の山を楽しむ
■
■準備会　　2023 年８月７日（火）
　　事務所 19：30～
■体力度　　1★☆☆☆☆（初心者）
■技術度　　A★☆☆☆☆（初心者クラス）

岡山県と鳥取県の県境の山で、ブナの原生林のある人気のコースです。歩行時間は４時間弱です。

定例山行案内

四ブロ沢登り研修　皇子渓谷下部

■日　程　　2023 年　8 月 19 日（土）～　20 日（日）
■目　的　　沢登りの楽しさと危険性を共有しよう
■場　所　　愛媛県　四国中央市
■
■準備会　　7 月 24 日（月）19：30～　事務所にて
■体力度　　2★★☆☆☆（初心者～初級）
■難易度　　D★★★★☆（中級）

今年の四ブロ沢登り研修は四国中央市の赤星山登山口の大地川にて行います。

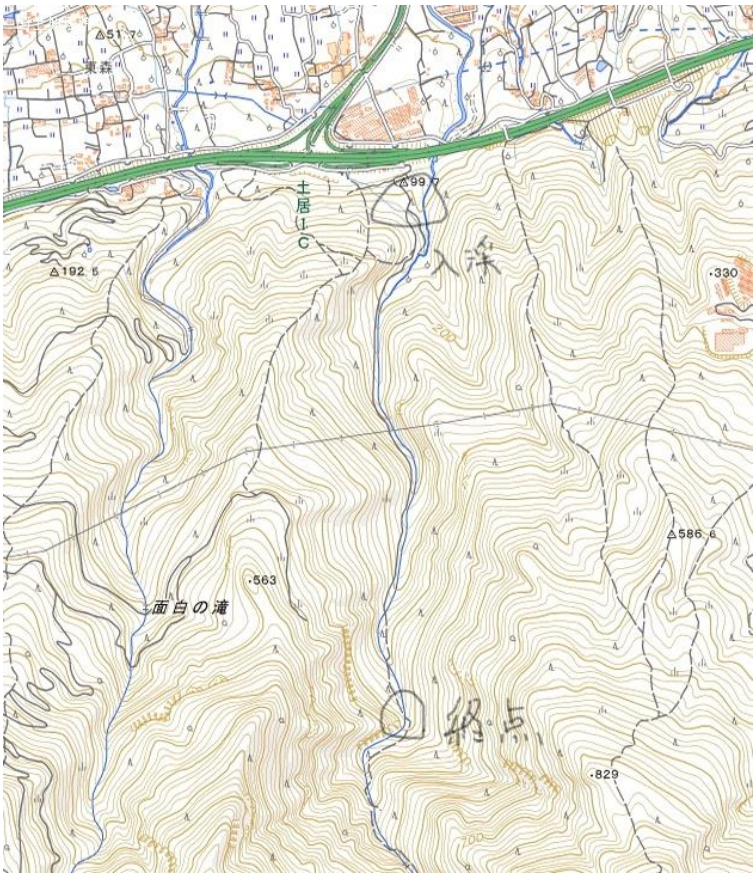
スケジュールとしては、初日の 10:00 に土居 IC 近くの空き地に集合し、研修会後に入渓し、約 2 時間にて終了

テント設営し、ロープワーク研修後、テント泊

2 日目は、渡渉技術研修後、入渓し約 4 時間にて終了、駐車場にて解散となっています。

1 日目、2 日目の日帰りも可とのことです。

滝が 10 か所以上ある変化に富んだ沢となっています。興味のある方は準備会に参集お願いします。



定例山行案内

木曽御岳　3067m

■日　程　　2023 年　9 月 2 日（土）～　4 日（月）
■目　的　　標高 2,800mの山小屋を楽しむ
■場　所　　長野県木曽町・岐阜県下呂市・高山市
■
■準備会　　8 月 2 日（水）19：30～　事務所にて
■体力度　　4★★★★☆（中級）
■難易度　　B★★☆☆☆（初心者～初級）

木曽御岳は立山、乗鞍岳と並んで、比較的登りやすい 3000m峰ですが、2014 年 9 月の噴火で多数の人が犠牲になった、活火山です。

予定の行程は、土曜日の午後に出発し、登山口にてテント泊。翌日にアタックし、山小屋泊。

月曜日に下山し、濁河温泉にて温泉入浴後帰る計画としています。今のところ 5 名の参加希望となっています。山小屋の予約もありますので、参加希望者は早めにご連絡お願いします。

2023 年度の山行、ハイキング、行事の予定

会報に案内を載せている以降の予定です。スケジュールに入れて参加しましょう。

月	日	曜日	山行予定	
9	9	土	岩トレー6	
	10	日	遭難を考える集い	
	17	日	＜拡大山行＞石鎚山	
	16 - 18	土～月	S-2 槍ヶ岳～奥穂高岳	
10	1	日	S-2 石鎚北壁（岩）	

上記予定は変更になる可能性もあります。

定例山行報告

牛の背（1757）天狗塚（1812）

■日　程　　2023 年　5 月　28 日（日）　晴れ
■場　所　　徳島県三好市東祖谷
■目　的　　茫漠とした笹原の縦走路を歩く
■参加者　　11 名

■費　用　　1,320 円
コースタイム

5：30 山の会事務所－－－7：50 亀尻峠登山口 8:00……8：45 亀尻峠 8：55……
10：40 笹原……11：20 牛の背……12：00 天狗塚山頂（1812）昼食 12：20……14：
45 亀尻峠……15：10 亀尻峠登山口 15：20－－－17：50 事務所（反省会）

5 時半出発のころには、すでに周りが明るい。夜明けが早くなったものだと感じる。少し曇り空だが、天気予報によれば雨の心配はなさそう。順調に東祖谷に向かう。亀尻峠登山口駐車場手前のぬかるんだ道路は、大揺れでスリル満点だった。

登山口の看板には、“体力と装備が必要なコース”と注意書きがある。「私の体力、大

丈夫かな？」少し不安がよぎる。亀尻峠までの道は 45 分くらいかかる。

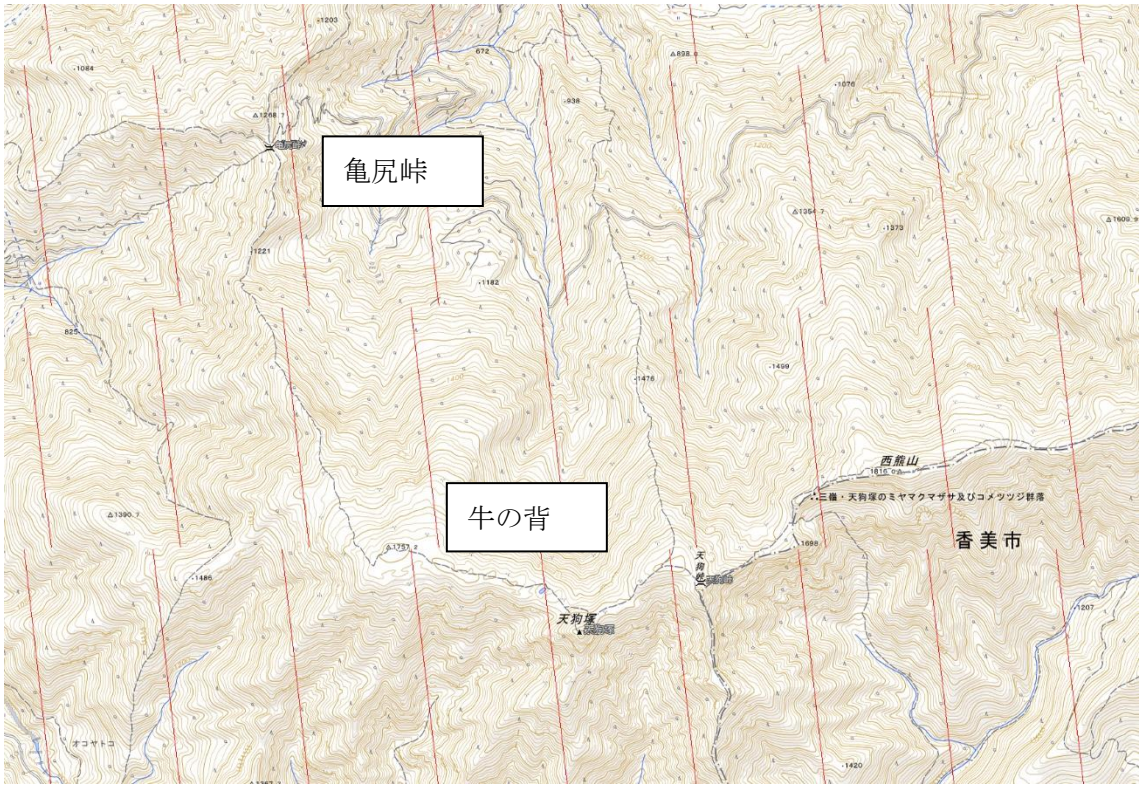
そこからは、樹林帯をひたすら歩く。かなり急こう配なところもあったが、慎重に登っていく。新緑の美しさに癒され、涼やかな登山道ではあったが、進んでも進んでも樹林帯が続く。ようやく笹の葉がちらほら見えてきたときには、写真で見た馬の背がもうすぐだと嬉しくなる。

樹林帯から茫漠とした笹原へと景色は大きく変化したが、道はまだまだ続く。先ほどまでの森の涼しさはなく、太陽がすぐそこからじりじりと照り付けてくるような気がする。大きな馬の背中を歩き、天狗塚の下までたどり着く。

男性登山者 2 名が頂上からそろりそろりと降りてくるのが見える。ここもかなりの急登であることが伝わってくる。最後の力を振り絞って、太ももを持ち上げる。ようやくたどり着いた頂上からの景色は、「よく頑張った！」とご褒美をくれているようなパノラマだった。鮮やかなツツジの色が緑に映える。

昼食兼小休憩を取り、下山に向かう。会の皆さんは、余裕ありありの顔で下っていたが、私は「こんなに急な道を登ってきたんだ…」と内心驚いていた。きっと一人では歩き通せないが、みんなで歩くから自然と足が前に出るのだろうと思う。

5 月の山の美しさと山行の楽しさを存分に感じることのできた一日だった。



登山学校山行報告

エンジョイ登山学校　西赤石山 1625.8m

■日　程　　2023 年 5 月 28 日（日）
■場　所　　愛媛県新居浜市
■目　的　　エンジョイ登山学校実技「バテない歩き方の実践」
■参加者　　19 名

内　一般受講生 4 名
■参加費　　5,000 円/人（受講生）

コースタイム

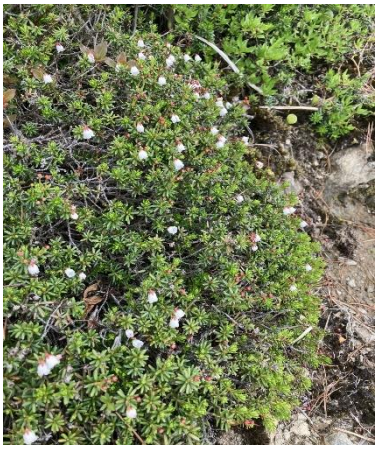
4：50 善通寺市民プール駐車場 5：00＝＝＝6：35 日浦登山口 7：10……9：48 銅山越……11：55 西赤石山 12：15……14：10 銅山越……16：15 日浦登山口 16：30＝＝＝18：30 善通寺市民プール駐車場

善通寺市民プールの駐車場に集合し、マイクロバスで日浦登山口へ向かう。

登山口では準備体操後、前回の実技の「歩き方の基本」を少しおさらいして出発する。初めはなだらかな登りで銅山遺跡を眺めながらゆっくりと歩く。気温が丁度よく、新緑も気持ちがいい。段差の大きいところや登りの歩き方など講師から説明を受けながら、バテない歩き方を学ぶ。登山は下山するための体力を残しておかなくてはいけない。そのため、バテない歩き方を学ぶことはとても大切だ。

山頂手前の岩場で、山頂へアタックする班と待機する班とに分かれた。現時点での個々の体力や残りの時間配分等を考慮し、班を分けることになった。受講生 12 名のうち 6 名が頂上へ。山頂組は岩場でも皆スイスイと登っている。頂上で昼休憩後下山し、待機組と合流した。その後、全員で登山口まで下山した。

今回も前回の実技同様に長時間の歩行であった。登山の歩き方に慣れないうちは足への負担が大きかったり、体力を無駄に消耗してしまったりするかもしれないが、少しずつ登山の歩き方を身に着けて楽しんで山に行ってほしいと思う。



ツガザクラ

定例山行報告　クリーンハイク（グリーンライン登山道整備）

大麻山葵の滝まで

■日　程　　2023 年　6 月　4 日（日）　■天　候　　晴れ
■場　所　　香川県善通寺市
■目　的　　クリーンハイク（グリーンライン登山道整備）
■参加者　　19 名

内　会員外２名
■費　用　　0 円
コースタイム

地蔵池駐車場 7：00 集合 7：15 出発・・・7：45 大石登山道・・・8：17 分岐・・・9：35 展望園地・・・10：25 工兵道・・・10：35 葵の滝・・・防火帯・・・11：45 葵の滝 12：30・・・12：45 展望園地・・・13：55 大石登山口・・・15：00 駐車場

参加者は車、バイク、自転車、徒歩といろいろな手段で地蔵池の駐車場に集合。花壇の手入れをされている女性がおり、車を花壇の反対側へ移動するように言われた。車移動後、リーダーの説明と知事のメッセージ披露。

１班は草刈り機を使用するため、車で大石登山口へ向かう。軽トラには草刈り機や熊手などを載せて大石登山口へ。

２班は徒歩で大石登山口へ向かった。登山口までも気になる草や枝を刈りながら進んだ。古い看板も見えるようになった。２班は主に刈った草を熊手で掃くというのが仕事だったが、剪定鋏で枝や草を切りながら掃いていたため、結構時間がかかった。途中少し道を間違えてしまった。展望園地に着くとリーダー１人で他のメンバーは先のようだ。

葵の滝に着いて、草刈り機部隊と合流した。葵の滝は広いのでみんな頑張っていた。刈った草を下ろすため、斜面で熊手組も頑張った。先日雨が降ったためか、いつも枯れている葵の滝に水が流れている。だいぶん片付いたころ、防火帯の方も刈った草を片付けて欲しいと連絡があり、そちらへ向かった。そこの草を片付けて、葵の滝へ戻り昼食をとった。雑草の無くなった葵の滝はすっきりして気持ちが良い。

大石登山口から車道も草刈りと掃除をしながら歩いた。１５時に地蔵池に着き解散。

登山学校報告

大川山 1043m《読図》

■日　程　　２０２３年　６月　11 日（日）
■場　所　　香川県まんのう町
■目　的　　登山学校　「読図」地図の読み方　コンパスの使い方
■参加者　　計１８名
　　内　会員外５名

コースタイム

６：００琴南公民館スタッフ　大川山キャンプ場に車の回送
７：００琴南公民館……７：１２柞野 P……８：０９登山口……
１１：２７ピーク５７３m……１２：３０県境尾根……１４：１０大川山山頂
１５：３０琴南公民館

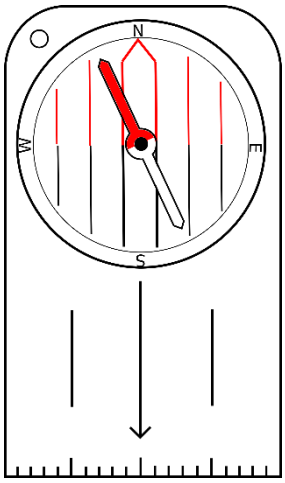
小雨が降っている　スタッフの車を大川山山頂のキャンプ場にまわしておいた。
集合場所の琴南公民館から乗り合わせて柞野登山口へ

準備運動後　早速コンパスを使い正置する。現在地から見える景色と地図を照らし合わせる。登山口と進む方向を確認して歩き出した。尾根にのった頃には雨もやんでいた。

整地して進む方向の確認、尾根を歩きながら谷やピークを確認しながら進む。
展望台に着くと讃岐平野に雲海が広がり、満濃池は全体が見え思っていたよりも小さく感じた。５７３mのピークを超えるとなだらかになり、尾根を乗り換えたり分岐があったり、その度に整地、進む方向の確認をしました。立ち位置の少しのズレはコンパスがさす方向もズレが生じる為、ポイントにしっかり立つ、ピンクや赤いテープに頼らない。
「何処に行くしるしなのかわからないし、山の中での作業目印の可能性がある」
最後の急登を登り山頂へ・・・。

今回スタッフで参加していましたが、久しぶりの読図山行で受講生の方々と一緒に学ばせて頂きました。

受講生の方の言葉、「コンパスすごいわ　方角がわかるだけだと思ってた　GPS があれば安心だと思っていたけど　進みたい方角までわかるなんてこれ発明した人天才!!」



定例山行報告

鉄砲石川　沢歩き

■日　程　　2023年　6月　18日（日）　曇り
■場　所　　愛媛県　久万高原町
■目　的　　沢歩きを体験する
■参加者　　７名

■費　用　　走行距離　322ｋｍ　4,010円/人（食料代、ガスコンロ代含む）

コースタイム

事務所5：00＝＝善通寺IC＝＝川内IC＝＝7：45駐車場着8：10出発…8：20キャンプ場から入渓…11：30昼食12：10…3ヶ所目の橋の下で終了…14：30駐車場＝＝川内IC＝＝善通寺IC＝＝18：00事務所

行きの車のラジオから「今日も暑くなります。熱中症に注意して下さい」と聞こえてきたが、鉄砲石川の駐車場の気温は17℃。曇っていてひんやりと肌寒かった。

今回はCLとSL以外のメンバー5名が初めての沢歩きだ。「沢登り」はハードルが高くても「沢歩き」なら大丈夫かな？と思い参加した。それでも未知の世界だけど…
はじめての沢靴を履き、ヘルメットを被る。（私は登山用のヘルメットを持っていなくて自転車用のヘルメットを使った）元気よくラジオ体操をしていざ出発。真っ暗なトンネルを出口の光を目指して歩く。通り抜けると鉄砲石川キャンプ場に出た。ここから川へ下りて行く。まずは石や岩がゴロゴロした河原を歩く。グラグラとした浮石や苔や水で濡れた石で滑らないように注意する。川を渡る時は流れの穏やかな所を歩くなど、歩き方を教えてもらう。チェストハーネスも身に付けた。

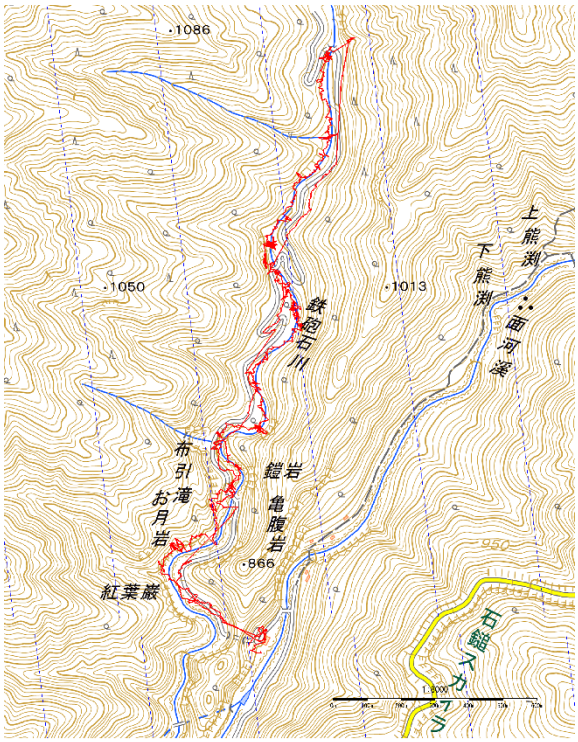
川の水は透き通って川底の石までよく見える。でも流れがある所では底が見えにくいので注意しながら足を置く。深い所は水の色がエメラルドグリーンでとてもきれいだ。私は最初「あまり濡れたくないなあ」と思っていて、ためらいながら恐る恐る歩いていた。でも開始から10分程でバランスを崩してドボン！うわーっ。さっそ

くお尻のあたりまで濡れてしまった。もう、どうにでもなれと開き直って、そこからはジャブジャブと水の中へ入っていくことができた。

川の左岸にはお月岩、少し行くと鎧岩がそそり立つ。そして布引滝。いつもは山の頂上から景色を見て感動するが、川から見上げる景色も美しい。進んで行くと川に大きなツルツルした岩が増えてきた。ひんやりとした流れの中を歩く。滑りやすい岩ではスリングのお助けヒモで CL や SL に引っ張ってもらった。別の滑りそうな岩を通る時も CL の声掛けで SL がササッと木の枝にスリングを結んでくれ、それを使って注意しながらも心強く通る事ができた。

広いナメ床で少し早いお昼休憩にした。お楽しみにしていたソーメンだ。鍋に川の水を汲んでソーメンをゆでる。みんな手際がいい。今日は肌寒いので温かいソーメンが嬉しい。「おいしいー」の声がいっせいに上がった。岩のくぼみの水の中では小さなかわいい生き物を発見。10 センチ足らずの黒い体でお腹やしっぽが赤い。イモリらしい。行く先々の水たまりで出会う事ができた。

お腹もいっぱいになった後、気を引き締めてゴール地点へ向かう。きれいな滑を歩いて行く。穏やかな流れの所で CL が「好きな所を歩いてみて」と言ってくれたので、それぞれ自由に歩いてみる。数時間前までは恐々と水に足をつけていたのに、今はとても楽しい。ゴール手前の釜では、1 人、2 人、3 人とメンバーが飛び込んで泳いだ。みんな子供に戻った様ないい笑顔だった。そして川から橋の上に出て、沢歩きは終了。川に沿って、林道を歩いて駐車場まで戻った。



初めから終わりまで、たくさんフォローしてもらい、とても楽しかった。「沢歩き入門」だったが、私にとっては大冒険の一日だった。未経験の人にぜひおすすめしたい。

定例山行報告　西日本の山③

諭鶴羽山 608m

村上しのぶ

■日　程　　2023 年　6 月　25 日（日）　　■天　候　　くもり
■場　所　　兵庫県南あわじ市
■目　的　　淡路島の山を楽しむ
■参加者　　8 名

■費　用　　走行距離往復 250ｋｍ　高速代　　3,070 円/一人

コースタイム

事務所 6：55＝＝＝善通寺ＩＣ＝＝＝7：35 津田の松原ＳＡ7：50＝＝＝8：30 西淡三原ＩＣ＝＝＝8：45 諭鶴羽ダムＰ9：05・・・9：25 神倉神社・・・10：35 諭鶴羽山頂上・・・10：50 諭鶴羽神社 11：35・・・11：50 頂上・・・12：55 登山口・・・13：00 ダムＰ13：10＝＝＝道の駅うずしお 13：40＝＝＝15：00 津田の松原 SA＝＝＝15：50 事務所

車 2 台に分乗し予定通り事務所を出発した。途中「津田の松原ＳＡ」でＩさんと合流、諭鶴羽ダムの駐車場に着いた。駐車場で恒例の準備運動を行った。

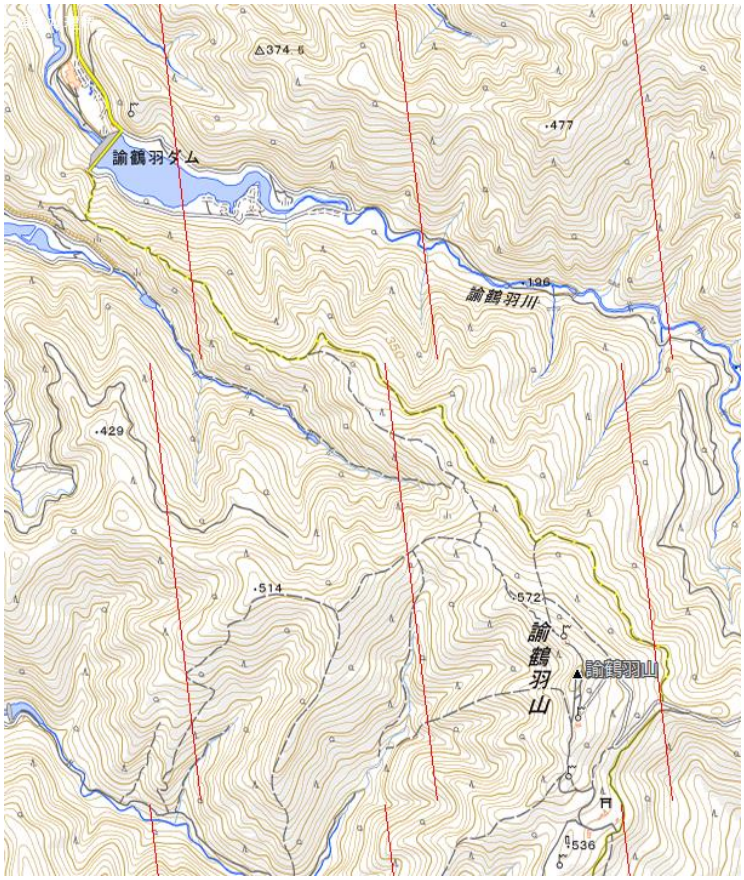
まずはダム湖の向こう側に渡ると、すぐに登山口がある。地図で確認すると最初は急登のようで、やはりすぐに急な階段から登り始めた。途中、石を三角に積んである所が何か所かあった。標識には近畿自然歩道と書いてあった。地元の人がよく登る山なのか、登山道を整備されている方もおられた。急な道を登り、尾根に出ると比較的なだらかな道になった。途中の分岐は右の道へ進む。電波塔の横を過ぎ少し行くと諭鶴羽山頂上に着いた。ここは一等三角点だ。この頂上は飲食禁止、景色を見ることと水分補給のみで飲食は諭鶴羽神社ですするようにとのこと。景色を見たあと神社へ向かった。

また電波塔の横を過ぎ、少し下ったところが諭鶴羽神社だ。境内のベンチで昼食をとり、お

社や親子杉の見学などして大休止をした。

休憩後往路と同じ道を歩く。１時間半弱でダム湖駐車場に着いた。

帰りは道の駅うずしおに寄って、買い物をしたり、アイスを食べたりしてゆっくりした。津田の松原でＩさんとお別れし、無事事務所に帰着。今回、天候が曇りだったので、暑くなくて良かった。



行事報告

ファーストエイド講習会

■日　程　　2023 年　6 月　10 日（土）　9：00～15：00
■場　所　　善通寺市市民会館１階集会室
■目　的　　応急処置の基本を学ぶ
■参加者　　10 名

登山中のけがや病気でも山の中には病院が無い。自力で下山できなければ救助要請をして、救助が到着するまでの応急処置を行う必要がある。ファーストエイドの講義のあと実技を行った。

山でのファーストエイドは（1）救命率を上げる（2）病者の衆生を現状以上に悪化させない（3）他人をあてにできない（4）結果に対して責任は問われない

ファーストエイドの手順は３ＳＡＢＣＤＥで評価、評価結果に基づき緊急度の高い部位から応急処置。自分たちでやれること以上は救助要請を行い任せる。救助要請は速やかに行う。

１１９番又は１１０番への伝達内容順位①山岳遭難②現場の位置情報（緯度経度ヤマップ等で確認できる）③傷病の程度と内容④１１９との通信用携帯電話は専用にする（電池温存のため）⑤緊急度が高い場合はヘリ要請（上空に 3m四方の空間があればヘリ救助可能）

実技は傷病者を発見した時の対応、傷病の部位の見つけかた。その後骨折部位の固定の仕方、止血方法、テーピングの仕方を三角巾　ストック　テーピングテープ　スリング　サムスプリントを使い行った。

山での突然死や熱中症についても講義がありいろいろ学ぶことが出来た。

３ＳＡＢＣＤＥ（目標は２分で終わらせる）

３Ｓ　scene 現場の状況確認 safety 自分と仲間の安全確保 spine 頭. 首. 背中を真直ぐ
Ａ　airway　　気道確保
Ｂ　breathing　呼吸確認
Ｃ　circulation　循環の確認
Ｄ　disability　　障害（異常）を探す
Ｅ　exposure　傷病者を寒さ、暑さ、風雨、雪から避ける

個人山行報告

屋久島 黒味岳~宮之浦岳~屋久杉~白谷雲水峡縦走

■日　程　　2023 年　5 月 21 日（日）～25 日（木）
■場　所　　鹿児島県　屋久島町
■目　的　　屋久島の自然に浸る
■参加者　　４名
　　内会員外１名
■費　用　　移動：新幹線、高速船　約 95,000 円/人(民宿、山小屋他 4 泊食事含む)

5 月 21 日（1 日目：移動日）　晴れ
各自最寄り駅(JR 特急)＝岡山 8:09(新幹線)＝11:09 鹿児島中央＝鹿児島港南ふ頭発 13:00(高速船)～15:30 宮之浦港＝16:10 民宿泊
5 月 22 日（2 日目：縦走 1 日目）　晴れのち雨
民宿発 4:00＝淀川登山口 5:20…淀川小屋 6:00…花之江河 8:00…黒味岳山頂 9:10…宮之浦岳山頂 12:10…新高塚小屋 14:50（小屋泊）

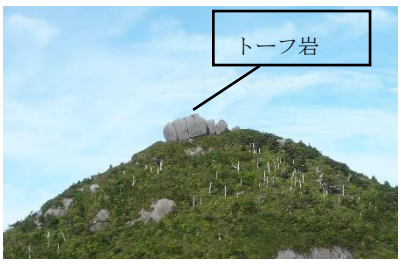
私にとっては約半世紀にもなる長年の念願であった屋久島 黒味岳、宮之浦岳の縦走に参加できた。

1 日目は、各自自宅の最寄り駅から JR 特急で岡山に移動し、九州新幹線のみずほ号内で合流した。鹿児島中央駅から南ふ頭に移動し、高速船トッピーで屋久島宮之浦港に到着し、安房の民宿には 16:00 過ぎには到着することができた。

2 日目は、夜明け前の満天の星空の下、4:00 に民宿を出発し、日の出とともに歩き始めることとした。5:00 頃に駐車場に着くと既に満車状態だった。

登山届けを提出して、明るくなると同時に歩き始めた。快晴の下、最初は原生林の樹林帯の中を歩くが、その造形の美しさに感動させられる。1 時間もしない内に淀川小屋に到着すると、沢山の登山客がいた。小屋を少し過ぎた所の小川の透明度や燐とした佇まいは言葉が出ないくらい素晴らしかった。

樹林帯をしばらく登ると高盤岳のトーフ岩のビューポイントに着く。屋久島を代表する奇岩の一つで、どのようにしてこのようにトーフ(豆腐)が見事に切れた形で頂上にあるのか不思議である。



樹林帯を歩き続けると、日本最南端の高層湿原である小花之江河に続いて花之江河に着く。ここだけ別世界であり、落着いた雰囲気に癒やされる。登山道は花崗岩で滑りにくく木道もかなり整備されており歩き易い。縦走路の黒味岳分岐にザックをデポし、空身で黒味岳山頂を目指す。時折、ロープを使う場面もあるが登り易い。やがて森林限界を越えて、低木や笹原になり眺望も良くなる。

黒味岳山頂では 360 度パノラマの絶景が楽しめ、ヤクシマシャクナゲやサクラツツジなどと新緑のカラフルなパッチワークに目を奪われる。この後に登る宮之浦岳とこれから登る登山道も見えて気合いが入る。

縦走路に戻り宮之浦岳を目指すが、ロープを使う急登もあり、きつい登りが続いたが、その分頂上に着いた時の満足感は大きかった。午後は曇る予報であったが快晴が続いてくれ、遠くの口永良部島まで見通せた。

山頂からの下り道は、51 年前に通った筈だが、なかなか思い出せない。当時、キャンプした場所を探してみたが見つけられなかった。登山道の周辺にはヤクシマシャクナゲが綺麗に咲き始めていて、奇岩も沢山見ることが出来た。

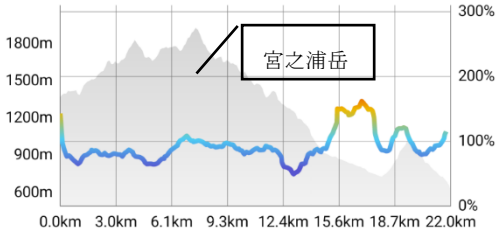
見とれながら下っていると、やがて曇り始めしばらくすると雨も降り出した。新高塚小屋に到着する直前には、雨の中、ヤクシカくんが出迎えてくれた。平日にも関わらず小屋内はほぼ満員になった。早々に夕食を済ませ横になったが、夜通し雨が続き小屋内に缶詰となった。

5 月 23 日（3 日目：縦走 2 日目）雨のち晴れ
新高塚小屋発 5:10…縄文杉 6:20…ウイルソン株 8:00…楠川分かれ 9:50…太鼓岩 10:50…白谷雲水峡苔むす森 11:40…白谷雲水峡登山口 12:40…バス発 13:00＝バス乗り継ぎ＝民宿 16:00

3 日目、朝になっても雨が続いていたが、早々に朝食を済ませ、雨具とヘッデンを付けて日の出前に小屋を出発した。暗くて濡れた登山道を慎重に下ると、やがて霧の中に縄文杉が現れた。その巨大な容姿に圧倒される。ウイルソン株を過ぎる頃には雨も上がった。その後も数々の大きな屋久杉などの大自然を堪能しなが

らトロッコ道まで下る。トロッコ道では大勢の団体客とすれ違うことになり、CL 判断で夜明け前に小屋を出発したことは正解であった。

トロッコ道は昔と変らない雰囲気でとても懐かしい思いを感じながら歩く。楠川分かれから太鼓岩への登り戻しは疲れた足に堪えた。しかし、太鼓岩からの眺望は、これまで延々と歩いてきたルートが見渡せるパノラマの絶景であり、疲れも吹っ飛んだ。



白谷雲水峡に下り、ジブリで有名となった苔むす森に入ると、昨夜の雨でしっかり水分を含んだ苔たちが輝いている。その他にも渓谷美や沢山の屋久杉を楽しみながら 2 日間の縦走を終えた。出口ではヤクサルくんが出迎えてくれた。その後、民宿には路線バスを乗り継いで帰着した。

5 月 24 日（4 日目：天候予備日）晴れ
民宿発 8:10＝ﾔｸｽｷﾞﾗﾝﾄﾞ入口 8:50…園内トレッキング 11:10＝島内一周観光
（太平洋展望、昼食、開聞岳展望、平海製菓、東シナ海展望、西部林道、平中海中温泉ほか）＝民宿
5 月 25 日（5 日目：移動日）晴れ
民宿発 8:30…安房港発 9:05＝宮之浦港発 10:45～鹿児島南ふ頭 12:35＝
鹿児島中央駅 12:50（現地解散）＝岡山（新幹線）＝各自最寄り駅（JR 特急）

4 日目は、元々が天候不良時の予備日だったので休養日とすることにし、レンタカー移動で、午前中はヤクスギランドの園内トレッキングを楽しんだ後、午後は島内を反時計回りに一周し、山歩き以外の屋久島観光も沢山楽しむことができた。民宿に戻ってから、開放的な屋外バーベキューで今回の遠征を締めくくることができた。

5 日目、安房港から路線バスで宮之浦に戻り、高速船と九州新幹線を乗り継いで無事に香川に帰還した。昔は 2 日間もかかったことを思うと、交通機関の驚くべき進歩だ。

今回の縦走では、51 年前の思い出のルートを歩くことができ、淀川登山口からの登山ルートや白谷雲水峡の未体験のルートも経験することができた。天候的にも晴れの屋久島と雨の屋久島の両方の良さを十二分に体感することができ、最高の遠征になった。

個人山行報告

浅間山・霧ヶ峰・美ヶ原・焼岳

■日　程　　2023 年　6 月 8 日（木）～　11 日（日）
■場　所　　長野県
■目　的　　百名山を踏破する
■参加者　　1 名
■費　用　　走行距離　1560ｋｍ、　高速料金：約 24,500 円

6 月 8 日　曇り

自宅 6:50　＝＝＝新名神・伊勢湾岸・東海環状・中央・長野・上信越道経由　＝＝＝ 16:10 車坂峠　車中泊

9 時間余りのドライブにて駐車場着。夜中の雨の予報で、他に車は見当たらない。

6 月 9 日　雨のち曇り

4:30 起床　6:10 出発……　7:40 トーミの頭　……　7:55 黒斑山　……　9:25 車坂峠　＝＝　11:25 車山肩　……　11:55　車山　……　12:35 車山肩　＝＝ 14:00 ｶﾓｼｶｽﾎﾟｰﾂ　＝＝　14:40　宿

昨夜、雨中の山行を想定し、準備していると雨具がないのに気づく。朝方には雨が上がる予報なので、小降りになるまで待つ。6 時過ぎに雨が上がりそうになったので、傘をさして出発。雨は上がったが、ガスで真っ白の中を進む。トーミの頭まで来たが、浅間山は全く見えない。火山警戒レベル２のため、登山可能な外輪山の黒斑山（2,404m）に到着。ここからも浅間山は全く見えない。

登りは沢ルートにしたので、下りは尾根ルートを下る。アズマシャクナゲが美しい。駐車場まで下山すると、登山者が１グループだけいた。

霧の中、次の目的地：霧ヶ峰（最高峰：車山 1,924m）を目指す。車山肩の車を止めて、30 分ほどで車山に到着。景色を楽しむ山であるため、霧で何も見えないと、価値は半減以下か。

カモシカスポーツ松本店に立ち寄り、安い雨具を購入する。

松本ホテル花月にチェックインし、国宝松本城を見学。

夜は宿推奨の居酒屋にて食事。

6 月 10 日　晴れのち曇り

5:00 起床　6:10 出発＝＝7:10 美ヶ原高原美術館駐車場　7:25……　8:40 王ケ頭…… 9:10 王ケ鼻　……　11:00　駐車場　＝＝　14:00　焼岳登山口　泊

朝食にコンビニ弁当を食べて出発。今日はまずますの天気。駐車場から少し歩くと、蓼科山から八ヶ岳連峰がぼんやりと見える。途中、牛が放牧されていて、四国カルストを思い出す。最高峰の王ケ頭（2,034m）には 1 時間半程で到着。山頂に王ケ頭ホテルがあり、送迎バスが行き来している。すっきり晴れた日であれば最高のロケーションか。後で調べると 1 泊 3 万円／人くらいするらしい。

王ケ鼻まで行くと、北アルプスの山々がぼんやり見える。帰りはアルプス展望ルートにした。足元にイチゴの仲間の白い花がたくさん咲いている。

少し時間があったので、カモシカスポーツに立ち寄り、昨日気になっていたシャツを購入。焼岳駐車場付近は路駐の車であふれている。14 時に駐車場に着く。どんどん人が下山してくる。17 時過ぎになると最後の 1 台がいなくなり、明日は雨の予報で単独行になるかと思った時、1 台の車が到着。金曜日の午後に東京を出発し、今日、笠が岳を弾丸登山して、明日は焼岳に行くらしい。その 30 代女性と 3 時出発でご一緒することとした。結局その人以外誰も来なかった。

奥穂と前穂

6 月 11 日　雨のち曇り

2 時起床　3:00 出発……　5:30 焼岳　……　7:00　駐車場　＝＝　15:00 自宅

雨は夜中から降り始めたが、あまり強くはない。カモシカスポーツで購入した雨具を着て、3 時に出発。4 時半ごろに夜が明けてきたが、周りはほとんど見えない。約 2 時間半で北峰（2,439m）に到着。

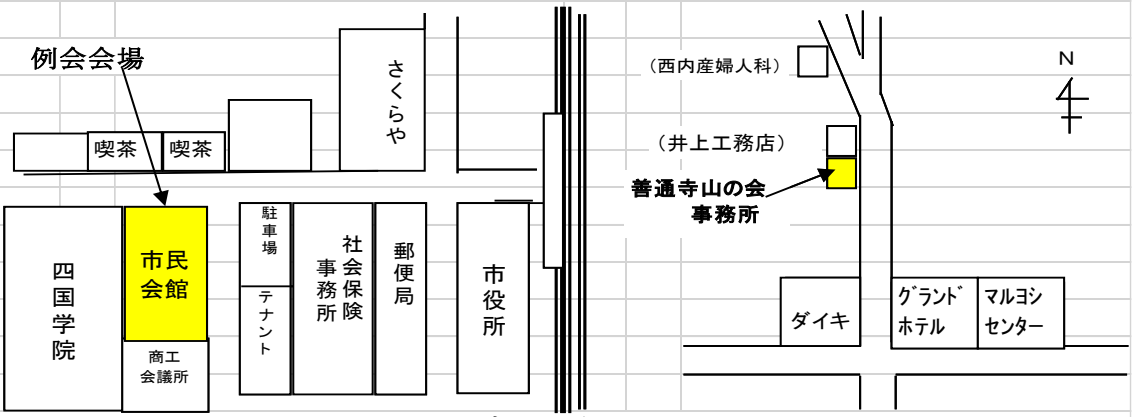
早々に下りにかかる。途中で池が見えたとのことから少し上り返す。

女性に先に行ってもらうと、ものすごく速い。膝を痛めるよと言っても、飛ぶように下りていく。私が先頭に交代し、下山したが、1 時間半で降りてしまった。往復でコースタイム 5 時間のところを 4 時間で行ってしまった。

7月			8月		
1	土	秋田駒早池峰山	1	火	会報部会
2	日	西日本④山犬嶽・岩トレ4	2	水	enjoy座学・御嶽山準備会
3	月		3	木	例会
4	火	会報部会	4	金	
5	水	enjoy座学	5	土	
6	木	例会	6	日	沢大剣谷
7	金		7	月	毛無山準備会
8	土	S-1岩場歩きの基礎	8	火	
9	日	enjoy大屋冨	9	水	山行部会
10	月	赤帽子山準備会	10	木	北アルプス縦走
11	火		11	金	
12	水	山行部会	12	土	
13	木	大山準備会	13	日	
14	金	バス登山八ヶ岳	14	月	
15	土		15	火	
16	日		16	水	事務局会議
17	月		17	木	運営委員会
18	火		18	金	
19	水	事務局会議・北アルプス準備会	19	土	岩トレ5
20	木	運営委員会	20	日	西日本⑦毛無山・四ブロ沢赤星
21	金		21	月	
22	土		22	火	
23	日	西日本⑤赤帽子山・S-2面河本谷	23	水	
24	月	23日原稿締切・沢大剣谷、沢赤星準備	24	木	富士山
25	火		25	金	
26	水		26	土	
27	木		27	日	西日本⑧・ｴﾝｼﾞｮｲ剣山
28	金	登山学校準備会	28	月	
29	土		29	火	
30	日	西日本の山⑥大山	30	水	登山学校準備会
31	月		31	木	

◆月会費:1，100円◆申し込み･問い合わせ先　☎(0877)22-0036　佐藤孝雄

◆山の会ホームページ　http://z-yamanokai.kwaf.jp



こめつつじ　No505

発　行:善通寺山の会　会報部　　発行日:2023/7/4

住　所:香川県善通寺市下吉田町143-1　　ＴＥＬ:(0877)62－9965

発行人:三野　　編集責任者:村上しのぶ